



市民の皆さんへ

国内の感染者が増加傾向にある中、急速な感染拡大の回避に向け、重要な時期を迎えております。目に見えないウイルスに対するということ、正確な情報とそうでないものが入り混じってしまっていること、収束が見通せないことなどから多くの方が不安に思っておられると思います。

本市におきましてもいつ感染者がでてもおかしくないという状況の中、施設の閉館や行動の自粛など不自由な思いをさせてしまうこととなっておりますが、この正体の見えないウイルスに対しできる限りの情報収集に努め、感染症の拡大防止対策および正確でわかりやすい情報を提供してまいります。

市民の皆様におかれましては、落ち着いて行動していただくとともに、新型コロナウイルスに関する最新の情報にご留意のうえ、感染予防に努めていただきますよう心よりお願いいたします。

大月市長 小林信保

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口

▶ 症状のある方

○ 帰国者・接触者 相談センター（富士・東部保健所）

電話 0555-24-9035（24時間対応）

FAX 0555-24-9037（電話でのご相談が難しい方）

▶ 一般的なお問い合わせ

○ 厚生労働省相談窓口

午前9時～午後9時（土日祝日も対応）

電話 0120-565653

FAX 03-3595-2756

○ 山梨県相談ダイヤル

午前9時～午後9時（土日祝日も対応）

電話 055-223-8896

FAX 055-223-1499

○ 大月市電話相談窓口

平日の午前8時30分～午後5時15分

電話 0554-23-8038

FAX 0554-22-6422

▶ 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

○ 発熱等の風邪症状がみられるときは、学校や会社を休み外出を控えるようにしてください。

○ 発熱などの風邪症状がみられたら、毎日体温を測定し、記録しておいてください。

○ 症状のある場合は、医療機関へ電話連絡をしてから受診してください。

手洗いのしかた

（出典：厚生労働省）



① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



② 手の甲をのばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

3つの
咳エチケット

（出典：厚生労働省）

▶ マスク着用



▶ マスクがない時



ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

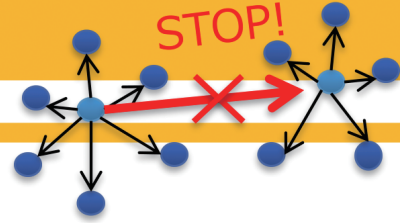
▶ とっさの時



袖で
口・鼻を覆う

新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために

感染拡大を防ぐために



国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

<感染経路の特徴>

※「小規模患者クラスター」とは

感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

- ◆これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆一方、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、

「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

国民の皆さまへのお願い

- ◇ **換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。**
- ◇ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。